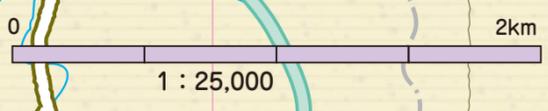


津房探訪マップ

凡例					
	車いす可能トイレ		神社		里の駅
	駐車場		寺院		温泉
	小学校		郵便局		食事処
	警察		宿泊所		ぶどう園



津房の由来
 古来、津房（つぶさ）は、豊前・野麻郷（ぬまごう）・津布佐（つぶさ）と呼ばれていました。9万年前、宇佐山郷一帯は、阿蘇山大噴火により湖となっていました。「津」は湖の端、舟や筏の泊まり場を指し、麻とも読む「布佐」は、湖が涸れた地に麻や穀物が実ったことを示しています。豊前、豊後の国境にある津房には、多くの古道がありました。

津房のいま
 宇佐市安心院町の南部に位置する津房地区は、人口約1,600人の純農業地帯です。米、ぶどう、イチゴ等が栽培され、四季折々季節の味覚を楽しむことができます。名瀑東椎屋の滝やアフリカンサファリなど多くの観光地を有し、隣接する別府市、由布市、杵築市などとも交流があります。



別府市街地から車で30分
 宇佐市中心部より車で40分



九州自然動物公園
 アフリカンサファリ
 日本最大級のサファリパーク。野生動物を間近で観察できる

観光ぶどう園
 8月中旬～9月末を中心にぶどう狩りが楽しめます。
 詳しくは、宇佐市観光協会安心院支部 (0978-34-4839) へお問い合わせください

この地図の情報は、平成24年(2012)4月現在のものです。